

【一中】入学式準備をする際に気づいてほしいことは…

本文:

明日（4/10）の5時間目は、入学式準備です。その入学式準備をする際に、生徒たちに気づいてほしいことがあります。

入学式準備の為の下準備（シート敷）をしてくれた生徒たちがいます。本日 16:30 からシート敷の予定だったのですが、お客様来られていたので、私は 16:50 過ぎに手袋を持って体育館に行きました。すると、もうほとんど終わりそうな状況で、最後の一行を作業しているところで、手伝える必要もありませんでした。感心したのは、担当の先生方はただ見守るだけで、生徒同士で指示を出し、整然と作業が進んでいたことです。こうやってくれるおかげで、本校の学校行事がスムーズに進行していきます。

何度も生徒には話しているのですが、「人に支えられていることを実感し、自分も人を支えることができる存在になれるよう努力することが大切だ」と、私は思っています。そのためにも、入学式準備をする際には、生徒に気づいてほしいと思っています。（保護者の皆様から、それとなくお子様に話してもらえるとありがたいです。）それに気づくことができれば、明日の5時間目の新入生を迎える準備もそれぞれが考えて行動してくれると思っています。

「気づき 考え 行動する」生徒の存在が、本校の宝であり、将来の唐津（大きく言えば日本の…）の宝になると思っています。それを実践している生徒を見るのが出来るのは、本当に幸せだと思っています。明日も幸せな時間を過ごせると思います。入学してくる新入生も、先輩の姿を見て同じように育ってくれると思っていますし、後ろ姿を見せることが出来る先輩にもなってほしいです。ただ、生徒が実践すればするほど、生徒に負けないように自分自身が「気づき 考え 行動する」実践を積み重ねなければと身が引き締まる思いです。

もう一つ感心したことは、作業している生徒のスリッパが写真のような状態であったことです。

